

TOTO

ベッドサイド水洗トイレ 接続部材

EWR310D

EWR310ベッドサイド水洗トイレ専用部品

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

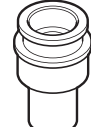
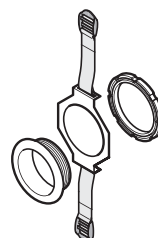
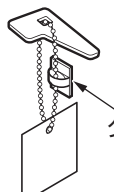
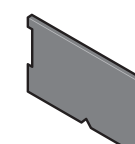
	 は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。		 は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	--	---	---

 注意

	専門業者以外の人、施工を行わない 水漏れ、故障、けがの原因になります。
	修理技術者以外の人、絶対に分解・修理・改造は行わない 水漏れ、故障、けがの原因になります。
	部品を取り付ける前に、必ず配管が所定の条件で施工されていることを確認する 製品が正常に取り付かず、水漏れや故障の原因になります。
	必ず同梱の部品を使用し、すべてを所定の位置に取り付ける すべての部品を取り付けないと、水漏れや故障の原因になります。
	施工後、必ず試運転し、各部に水漏れのないことを確認する 確認せずに使用すると、浸水による財産損害の原因になります。

同梱部品

■部品があるか、下記を参照して確認してください。

止水栓（フィルター付き）	排水ソケット	キャップ/クイックファスナー	
 (1個)	 (1個)	 (1個)	
グロメット/ワッシャー		ドレンガイド	
 (1個)		 (1個)	
結束バンド	開閉工具/注意札	断熱材	その他
 (1個)	 クランプ (1個)	 (1個)	注意ラベル  (1枚) 施工説明書  (1部)

商品概要

⚠ 注意



必ず実行

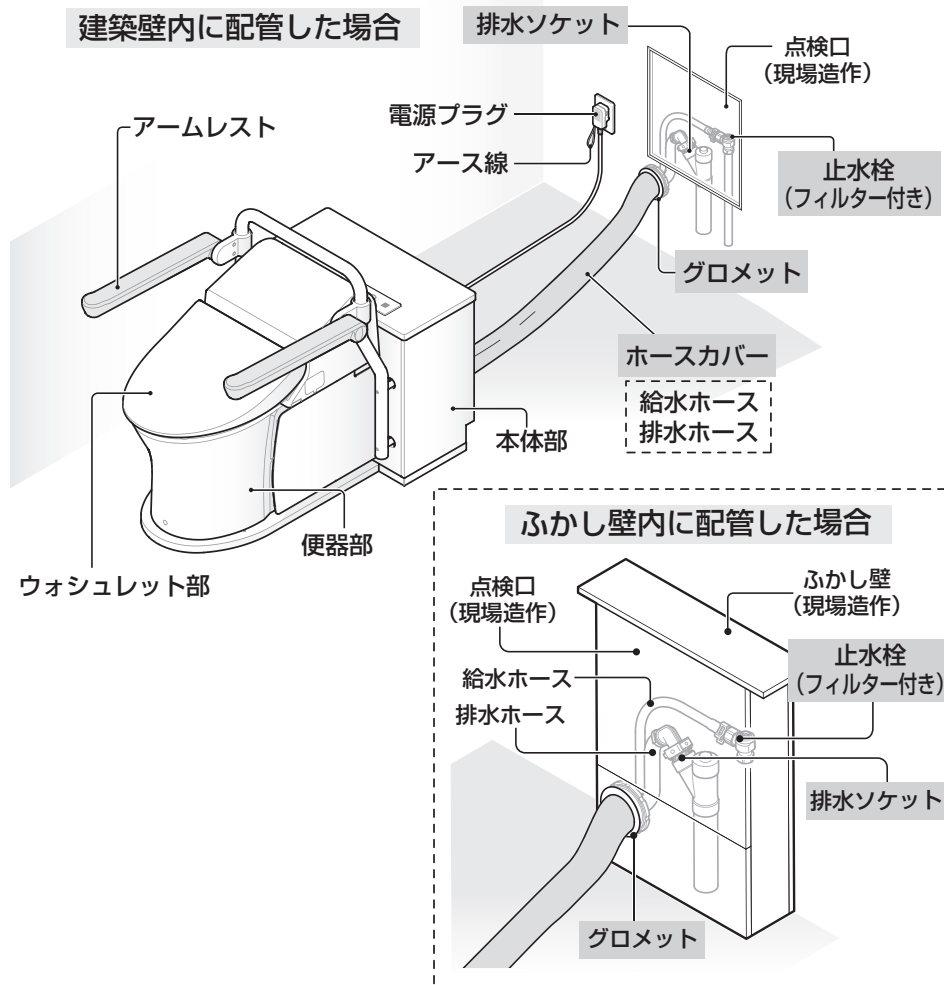
配管の接続部は、必ず壁内に隠ぺいする

配管の接続部が露出していると、破損や水漏れの原因になります。

必ず同梱部品を使用する

指定以外の部品を使用すると、水漏れや故障の原因になります。

配管の接続部は、建築の壁またはふかし壁(造作)内に隠ぺいします。
当部材は、壁内の配管および壁材に取り付けるために使用するものです。



施工手順

■ **I、II、III、IV** 以外の工程については、EWSR310ベッドサイド水洗トイレ本体部に同梱の施工説明書に従って作業してください。

I 配管部品を取り付ける

- 1 取り付け前に確認する
- 2 排水ソケットを取り付ける
- 3 止水栓を取り付ける
- 4 断熱材を貼り付ける



II 取り付け後の確認



III 壁固定部材を取り付ける

- 1 結束バンドを取り付ける
- 壁の仕上げ
- 2 グロメット/ワッシャーを取り付ける



ベッドサイド水洗トイレの組立



給水・排水・電源の接続



試運転をする(動作・水漏れチェック)



IV 安全・表示部材を取り付ける

- 1 ドレンガイドを取り付ける
- 2 開閉工具/注意札を取り付ける
- 3 注意ラベルを貼り付ける



取り付け後の確認

I 配管部品を取り付ける

1 取り付け前に確認する

⚠ 注意



禁止

専門業者以外の方は、施工を行わない
水漏れ、故障、けがの原因になります。



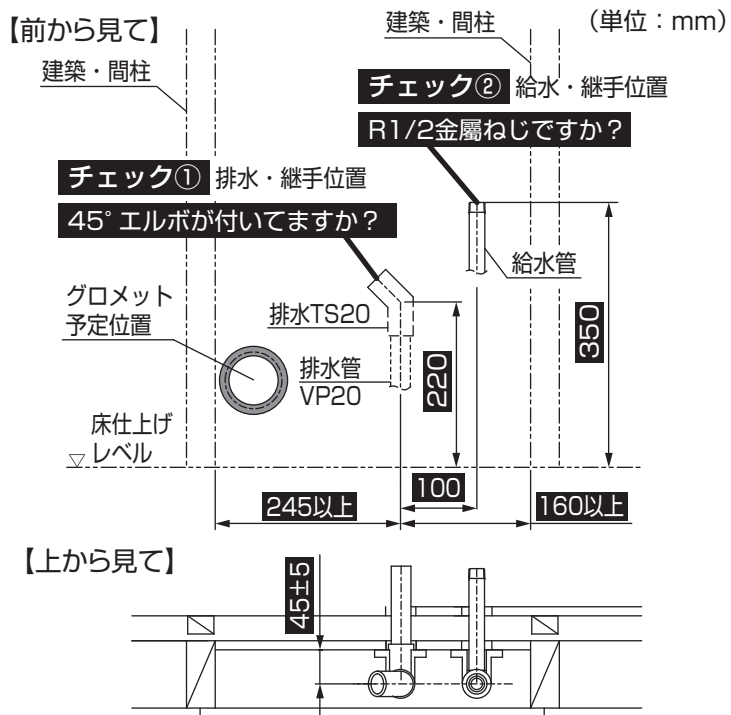
必ず実行

部品を取り付ける前に、必ず配管が所定の条件で施工されていることを確認する
条件から外れた場合、製品が正常に取り付かず、水漏れや故障の原因になります。

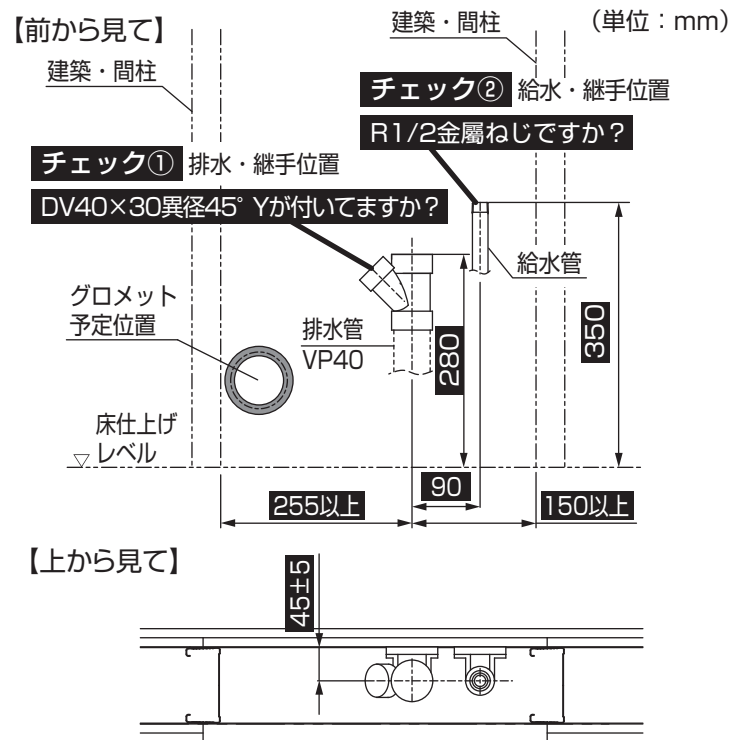
給水・止水栓と排水ソケットを取り付ける前に、管内のごみ、
砂などを完全に取り除く
管内に異物があると、製品の故障や水漏れの原因になります。

〈取り付け前の寸法確認〉 ※ 寸法、その他 をご確認ください。

排水管がVP20の場合



排水管がVP40の場合



■ 部品取り付けの前に、事前の配管工事を確認します。

【確認】

チェック① 排水管の末端部品の種類・位置・向き

チェック② 給水管のねじ（金属R1/2）と位置

注意

配管部品の位置・寸法や向きは、グロメットの予定位置によって左右対称になります。

I 配管部品を取り付ける(つづき)

② 排水ソケットを取り付ける

⚠注意



必ず実行

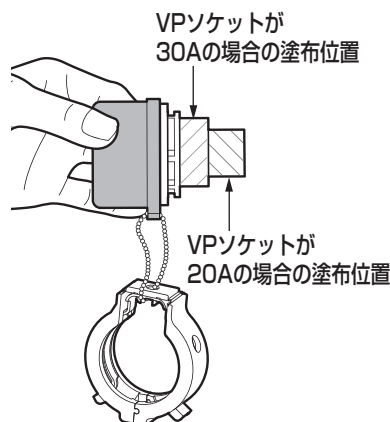
排水管に取り付ける際は、必ず塩ビ管用の接着剤を塗布する
接着剤を付けなかったり、異なる接着剤を使用すると、接続ができず
水漏れの原因になります。

排水管のサイズを確認し、必ず所定の箇所に接着剤を塗布する
接着箇所が異なると接続できず水漏れの原因になります。

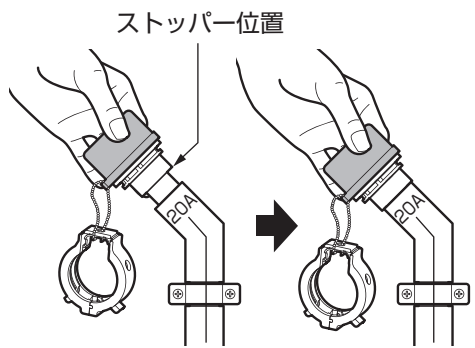
接続作業は、必ずキャップを付けたままで行う
キャップが無いとシール面が損傷し、水漏れの原因になります。

■排水ソケットを取り付ける際は、以下のことを確認して行ってください。

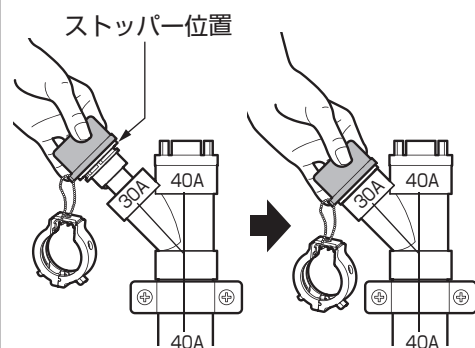
- ①排水管・継手のサイズは2通りです。
継手のサイズは20Aですか？30Aですか？
- ②排水ソケットを排水管・継手に接着します。
塩ビ管用接着剤（溶剤タイプ）を用意してください。
- ③塩ビ管用の接着剤を塗布します。下図の通り、排水管サイズにあわせて作業してください。
- ④排水管・継手に対してストッパー位置まで確実に挿入します。



排水管がVP20の場合



排水管がVP40の場合



③ 止水栓を取り付ける

⚠注意



必ず実行

必ず同梱の止水栓（フィルター付き）を取り付ける
異なった止水栓を使用すると、製品の故障や、水漏れの原因になります。

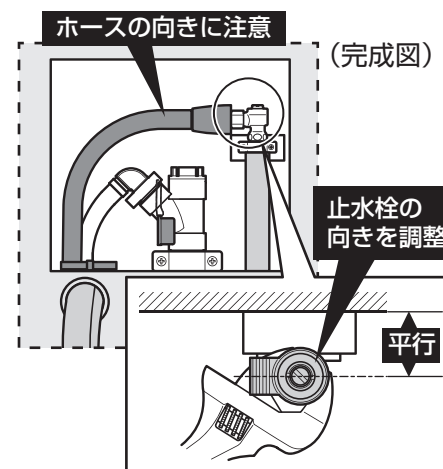
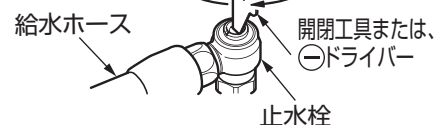
止水栓のシール面が傷付かない様に、慎重に取り扱う
シール面が傷付くと、水漏れの原因になります。

締め付け後、止水栓の向きが必ず所定になる様にあわせる
向きがあっていないと、製品が正常に付かず水漏れの原因になります。

■止水栓を取り付ける際は、以下のことを確認して行ってください。

- ①給水管は正しく取り付いていますか？
- ②給水管（R1/2）に接続し、向きを調節する。
壁面に対して平行になっていることを確認してください。
- ③止水栓を閉じる。確実に閉じていることを確認してください。

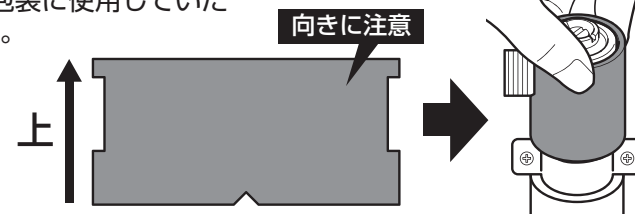
※右に回して閉める



④ 断熱材を貼り付ける

■断熱材を貼り付ける際は、以下のことを確認して行ってください。

- ①止水栓は正しく取り付いていますか？
- ②断熱材の上下の向きをあわせて止水栓の背面に巻きつける。
- ③はがれが無いように、しっかりと粘着させてください。
- ④貼り終えたら、包装に使用していたPE袋をかぶせる。



裏面へつづく

Ⅱ 取り付け後の確認

⚠ 注意



必ず実行

排水ソケットと止水栓を取り付けた後、必ず位置寸法を確認する
所定通りに位置寸法がでないと、製品が正常に取り付かず水漏れの原因になります。

排水ソケットと止水栓を取り付けた後、必ず接続箇所水漏れがないことを確認する
確認せずに使用すると、浸水による財産損害の原因になります。

■部品取り付け後に、確認します。

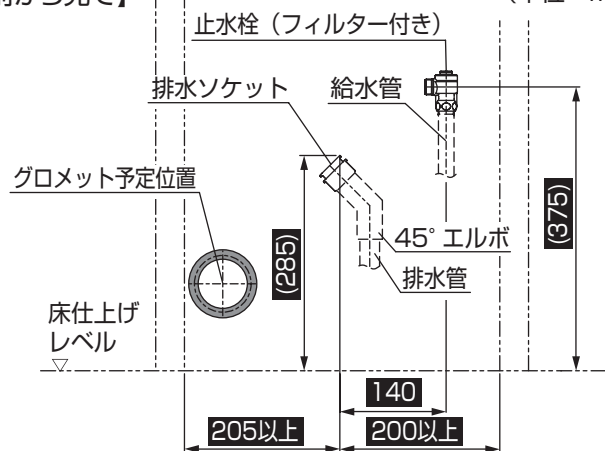
【確認】

- ①床仕上げレベルからの高さ寸法
- ②排水ソケットと給水管との間隔
- ③給水・排水管の水漏れの有無
- ④前面板のグロメット予定位置

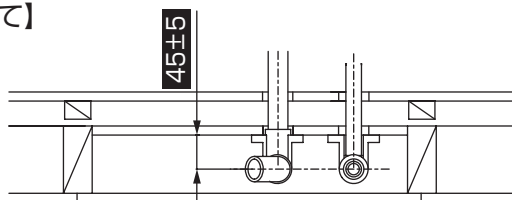
〈取り付け後の寸法確認〉 ※ **寸法** をご確認ください。

排水管がVP20の場合

【前から見て】 (単位：mm)

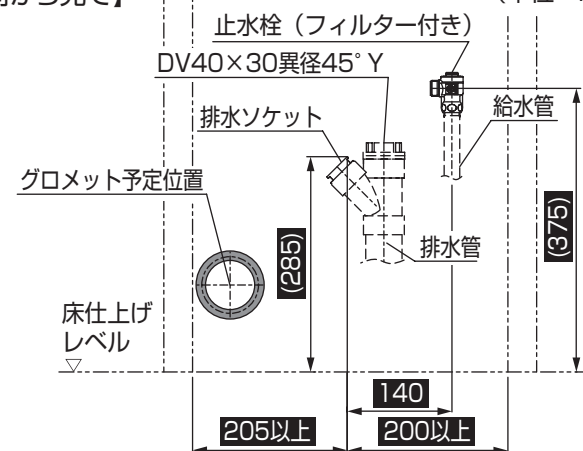


【上から見て】

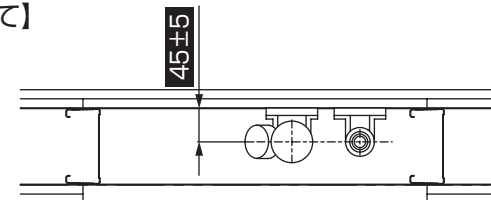


排水管がVP40の場合

【前から見て】 (単位：mm)



【上から見て】



Ⅲ 壁固定部材を取り付ける

1 結束バンドを取り付ける

⚠ 注意



必ず実行

必ず同梱の結束バンドを取り付ける

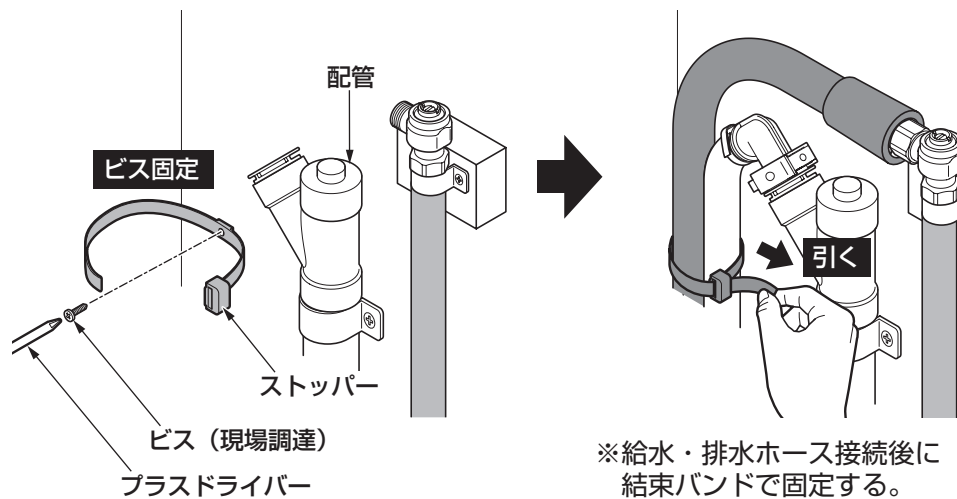
異なった結束バンドを使用すると、製品が破損し、故障や水漏れの原因になります。

■ 結束バンドを取り付ける際は、以下のことを確認して行ってください。

- ① 固定用のビスを1本 (φ4×16mm タッピンねじ) を用意する。
- ② 所定の位置に野書きを入れる。
- ③ 野書きにあわせてビス固定する。

注意 バンドの向き：ストッパーが配管側に位置するように調整する。

注意 給水・排水ホースの接続方法は、必ずEWR310A本体部に同梱の施工説明書に従って作業してください。

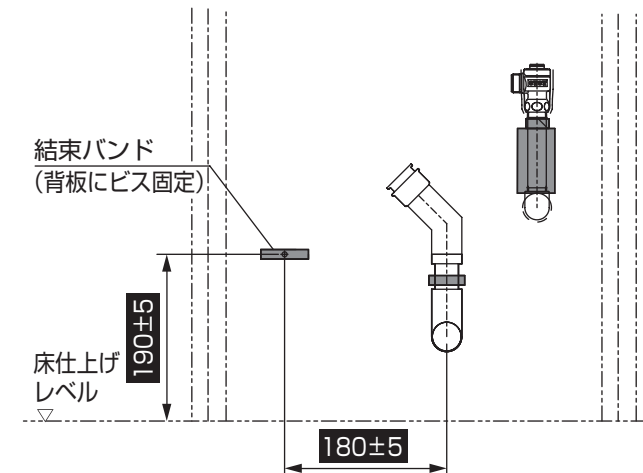


※ 寸法 をご確認ください。

排水管がVP20の場合

【前から見て】

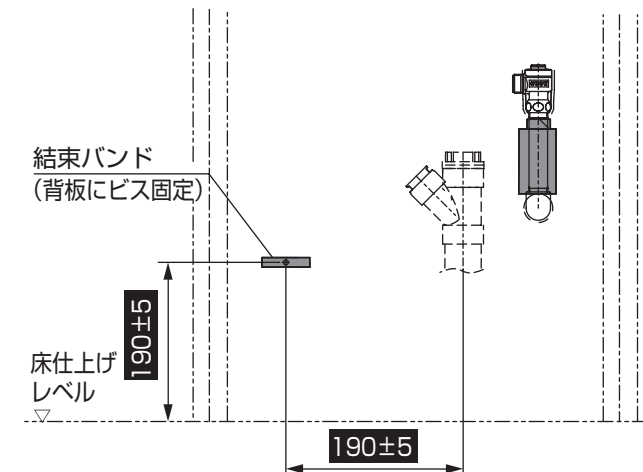
(単位：mm)



排水管がVP40の場合

【前から見て】

(単位：mm)



Ⅲ 壁固定部材を取り付ける

② グロメット／ワッシャーを取り付ける

⚠ 注意



必ず実行

グロメットは、必ず前面板の所定位置に取り付ける
所定通りに位置寸法がでていないと、製品が正常に取り付かず水漏れの原因になります。

■グロメットを取り付ける際は、以下のことを確認して行ってください。

- ①前面板(下地：構造用合板9～12mm厚)を用意できましたか？
- ②前面板の仕上げ厚みを確認する。

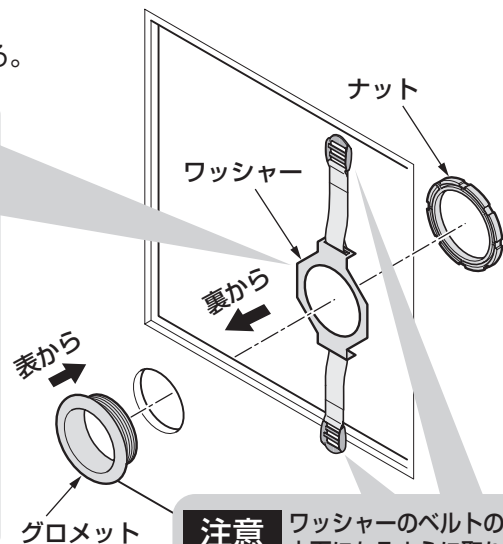
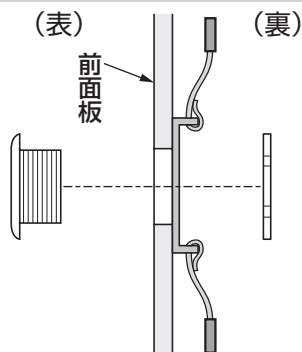
注意 板厚=22mm以上には取り付けません。

- ③前面板の開孔位置（排水管との間隔、F.Lからの高さ）を確認する。
- ④前面板の開孔寸法(円孔：φ76～80)を確認する。
- ⑤開孔の裏面が平滑なことを確認する。

注意 裏面の開孔付近(φ120の範囲内)に凸状の物があると取り付けません。

- ⑥グロメットを表側から、ワッシャーとナットを裏側から、前面板を挟み込むようにして手締めで固定する。
- ⑦作業後、ガタつきが無いことを確認する。

注意 ワッシャーのフラット面が壁裏に密着する向きに取り付けること。



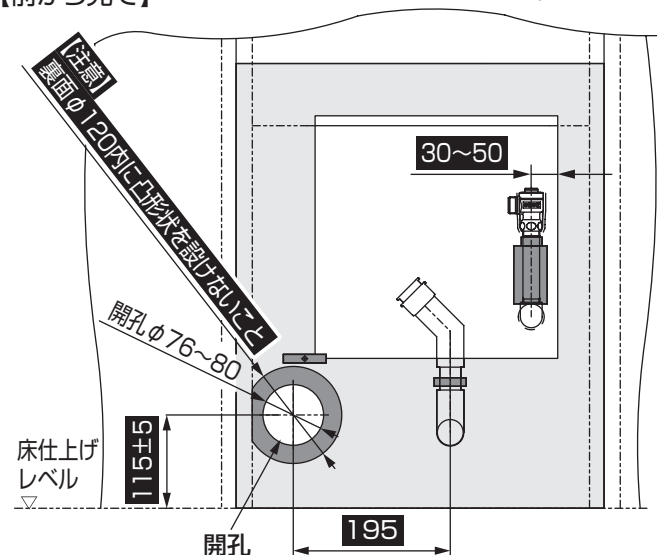
注意 ワッシャーのベルトの向きが上下になるように取り付ける。

〈取り付け前の寸法確認〉 ※ 寸法、その他 をご確認ください。

排水管がVP20の場合

【前から見て】

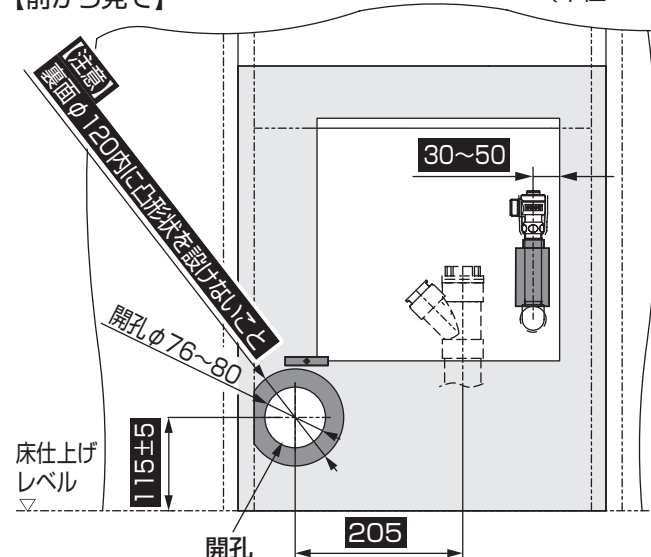
(単位：mm)



排水管がVP40の場合

【前から見て】

(単位：mm)



Ⅳ 安全・表示部材を取り付ける

① ドレンガイドを取り付ける

⚠ 注意

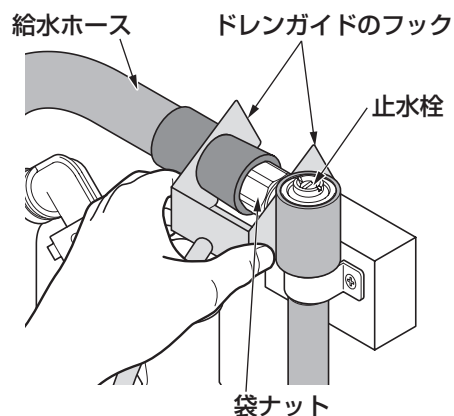


必ず実行

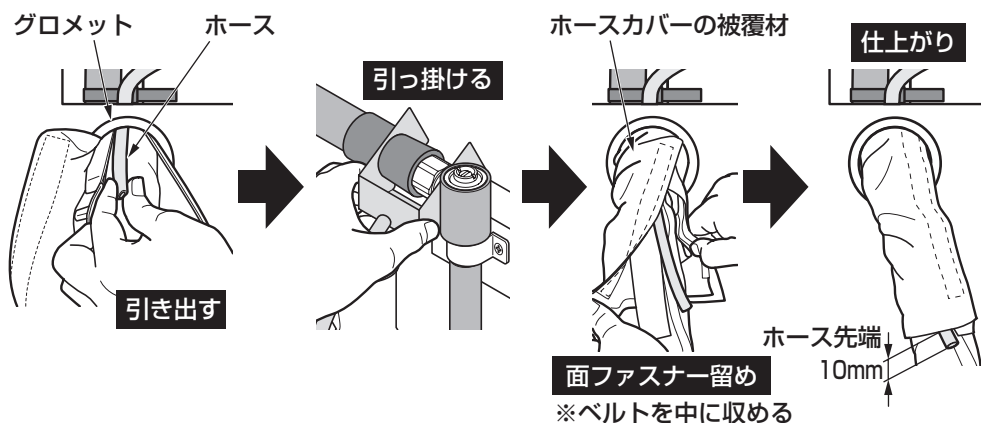
ドレンガイドを取り付ける際は、必ず所定の位置に取り付ける間違った位置に取り付けると、浸水による財産損害の原因になります。

■ドレンガイドを取り付ける際は、以下のことを確認して行ってください。

- ①給水ホースの接続部は、シール性を確認しましたか？
- ②ドレンガイドのホースをグロメットの穴に裏側から通して引き出す。
- ③ドレンガイドのフックの一方を、袋ナットと止水栓とのすき間に引っ掛ける。
- ④もう一方のフックを、給水ホースの断熱部に引っ掛ける。
- ⑤ドレンガイドのホースを、ホースカバーの被覆材で収納し、整える。



ポイント ホースの先端（約10mm）をのぞかせておく。



② 開閉工具／注意札を取り付ける

⚠ 注意

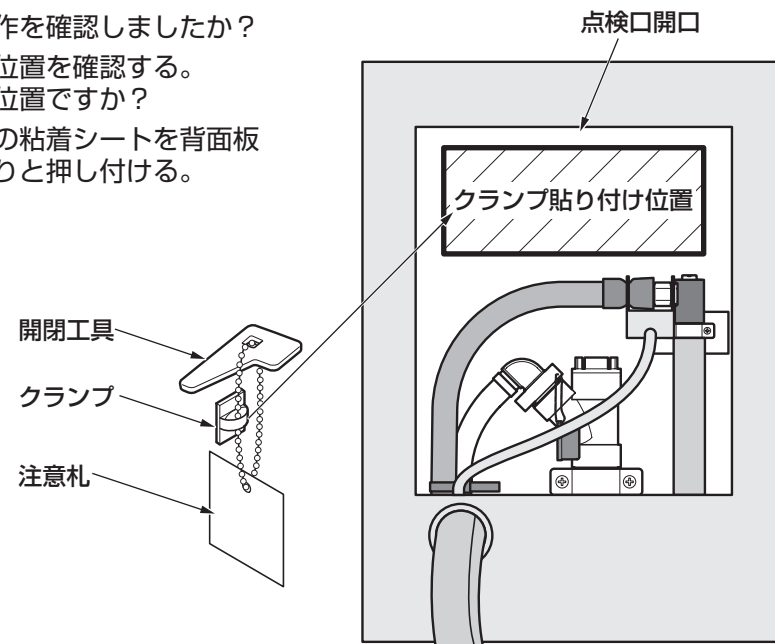


必ず実行

開閉工具／注意札は、必ず背面板の見やすい位置に取り付ける工具の場所が分からずに作業が遅延する原因になります。また、作業上の注意事項が守られない場合、水漏れの原因になります。

■開閉工具／注意札を取り付ける際は、以下のことを確認して行ってください。

- ①製品の動作を確認しましたか？
- ②貼り付け位置を確認する。
見やすい位置ですか？
- ③クランプの粘着シートを背面板にしっかりと押し付ける。



③ 注意ラベルを貼り付ける

■注意ラベルを点検口ふた・表面の見やすい位置に貼り付ける。

